

これまでの検討経緯

1. 主な検討経緯

- 平成 20 年度第 1 回環境技術実証事業検討会において、新たな技術分野として「ヒートアイランド対策技術分野（オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術）」が取り上げられ、平成 21 年度以降に技術の実証を行うことが適当であると判断された。
- これに基づき、「ヒートアイランド対策技術分野（オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術）ワーキンググループ会合」が設置され、専門的な知見に基づく検討の結果、当該技術分野の実証試験要領案が示された。
- 平成 21～22 年度においては、国負担体制で同技術の実証試験を実施した（平成 21 年度 3 件、平成 22 年度 7 件）。
- 平成 23 年度は、受益者負担の考え方に基づき、実証試験の実費も含めて申請者に費用を負担いただく「手数料徴収体制」へ移行し、引き続き実証試験を実施していく。

<これまでの検討経緯>

日時	WG・小 WG における主な検討事項
平成 20 年度	
7 月 2 日	・ 対象技術としての適切性について検討
9 月 12 日	・ 技術例・分類の確認 ・ 実証対象技術の検討 ・ 実証試験項目(案)の検討
1 月 23 日	・ 実証試験要領(案)の検討
3 月 4 日	・ 実証試験要領(案)の論点確認
平成 21 年度	
4 月 23 日	・ 実証試験要領(案)に関する検討 ・ 実証機関の公募・選定に関する検討
5 月 22 日	・ 実証試験要領策定に関する検討 ・ 実証機関の選定
6 月～	・ 技術実証委員会の設置
8 月～	・ 実証試験の実施(3 件)
12 月 10 日(拡大)	・ 事業や対象技術への要望・意見 ・ 実証によるメリット向上についての要望・意見
1 月～2 月	・ 実証試験結果報告書の作成
3 月 8 日	・ 平成 21 年度実証結果について ・ 平成 22 年度実証試験要領(案)の検討
平成 22 年度	
5 月 12 日	・ 実証試験要領(案)に関する検討 ・ 実証機関の公募・選定に関する検討

日時	WG・小 WG における主な検討事項
5月18日	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度実証試験要領の策定、公開 実証機関の募集
6月3日	<ul style="list-style-type: none"> 実証機関の選定
7月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 実証試験の開始(7件)
12月9日(拡大)	<ul style="list-style-type: none"> 事業や対象技術への要望・意見
3月4日	<ul style="list-style-type: none"> 実証試験結果について 実証試験要領の見直しについて ロゴマーク(案)について

2. 平成22年度の検討内容

平成22年度は、主に以下の内容について検討した。

①平成22年度実証試験要領の策定

平成21年度から検討されてきた平成22年度実証試験要領案をベースとして、平成21年度における実証試験やその運営状況に鑑み、最終的な確定版を検討、策定した。

②平成22年度実証機関の公募・選定

平成22年度の実証機関を公募し、組織・体制、技術的能力、公平性の確保、公正性の確保、経理的基礎、経費積算等の妥当性の観点から選定を行った。

③実証試験結果報告書の確認

実証機関から提出された実証試験結果報告書に基づき、実証試験の妥当性、適切性を確認した。

④平成23年度実証試験要領案に向けた検討および素案の作成

平成22年度における実証試験及びその運営状況から導かれる課題、各ステークホルダー及び有識者の意見等から、実証試験要領において改訂すべき箇所及び改訂内容を検討した。また、これらをもとに平成23年度実証試験要領案を作成した。

⑤当技術分野固有のロゴマーク（個別ロゴマーク）案の検討

ステークホルダー及び有識者の意見をもとに、当技術分野固有のロゴマーク（個別ロゴマーク）のあり方及びロゴマーク内に記載すべき事項を検討した。

3. 実証試験要領の主な改訂

初版 平成21年4月27日 公表

第2版 平成22年5月18日 公表

<初版からの主な改訂内容>

- 実証項目の変更
- 実証試験における測定精度に関する規定の追加
- 「ロゴマーク使用に関するガイドライン」の追加

4. これまでの実証実績

平成 21 年度及び 22 年度に国負担体制のもとで実証した技術は下記の 10 技術である。

<平成 21 年度の実証対象技術>

実証単位	実証対象技術	環境技術開発者
(A)システム全体	「川崎市南河原こども文化センター」における空調システム	JFE 鋼管株式会社 JFE スチール株式会社
(B)ヒートポンプ	水冷式ヒートポンプ（地中熱対応水冷式ヒートポンプチラー・ZQH-18W18）	ゼネラルヒートポンプ工業株式会社
(C)地中熱交換部	東京都港区高輪福祉会館において掘削された地中熱交換井	ミサワ環境技術株式会社

<平成 22 年度の実証対象技術>

実証単位	実証対象技術	環境技術開発者
(A)システム全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校法人森村学園における地中熱利用ヒートポンプシステム ・ 三菱マテリアル株式会社大宮新館における地中熱利用ヒートポンプ空調システム ・ 株式会社秀建コンサルタント本社事務所における地中熱利用ヒートポンプ空調システム 	ミサワ環境技術株式会社 三菱マテリアルテクノ株式会社 株式会社 秀建コンサルタント
(B)ヒートポンプ	高温型水冷式ヒートポンプチラー <ul style="list-style-type: none"> ・ ZQH-12.5W12.5 地中熱ヒートポンプユニット <ul style="list-style-type: none"> ・ GSHP-1001 ・ GSHP-1002UR 	ゼネラルヒートポンプ工業株式会社 サンポット株式会社
(C)地中熱交換部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社福島地下開発本社事務所における地中熱交換井 	株式会社 福島地下開発